

請願第1号

件名 学校給食費の無償化に関する請願書

請願者

外2,086名

紹介議員 羽曳野市議会議員 南 玲 笹井 喜世子

【請願趣旨】

新型コロナウイルス感染症の拡大と異常な物価高騰の影響が、格差と貧困を広げ、子育て世帯に重い負担をもたらしています。家庭での食事が十分にとれず、学校給食がなくてはならない栄養源となっている子どもたちもいます。

そんな中、多くの自治体が国からの交付金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）を活用して、学校給食費の無償化に踏み出しました。それは、市民の暮らしと子どもたちの成長を支える施策として市民から大いに歓迎されました。その後も国からの交付金に頼らず、独自の施策として学校給食費の無償化を実施する自治体が全国に広がっています。

また、地元の農業を守るとともに子どもたちに安全で豊かな給食を提供する取り組みとして、地産地消の食材を取り入れた学校給食の実施を国も推奨しています。

学校給食は教育の一環であり、日本国憲法第26条は「義務教育は、これを無償とする」とうたっています。教育を受ける権利はどの子にも保障されなければなりません。

以上のことから、羽曳野市が学校給食費の保護者負担の無償化を実施するとともに、地元食材を生かした安全で豊かな学校給食を実現するため、以下の項目について請願します。

【請願項目】

1. 小中学校給食費の保護者負担を無償とすること。
2. 小中学校給食費を無償にするための財政措置を国及び大阪府に求めること。
3. 地元の食材を生かし、安全で豊かな学校給食を実現すること。

令和6年5月20日

羽曳野市議会

議長 樽井 佳代子 殿